

感染症情報

平成30年12月27日付けで県内に「感染性胃腸炎警報」が発令されました。
 手洗いの徹底や糞便・吐物の適切な処理等、感染予防対策の啓発にご協力をお願いいたします。
 また、院内集団感染が疑われる場合、嘔吐や下痢症状のある者の数が通常を上回る場合は、最寄りの保健所と情報共有・連携の上対応いただくよう、改めてご留意ください。

感染症発生動向調査について

感染症発生動向調査事業は、「感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)に基づいて、感染症の発生や流行情報を正確に把握し分析して、その結果を県民や医療関係者に迅速に提供・公開するため全国的に実施されています。

調査対象感染症は、一類感染症7疾病、二類感染症7疾病、三類感染症5疾病、四類感染症44疾病、五類感染症50疾病が指定され、合計113疾病が対象となっています。

全数把握感染症は、一類から四類の感染症、五類の一部(22疾病)の感染症および指定感染症が対象で、県内の全医療機関から発生情報を収集しています。定点把握感染症は、五類感染症の一部(28疾病)が対象で、指定された県内178の医療機関の協力により情報を収集しています。

また、どのような病原体が流行の原因になっているかを把握するため検査定点医療機関を指定し、採取された検体を保健環境センターで検査をしています。

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
 (平成30年12月解析分)

1 今月のトピックス

(1) 感染性胃腸炎の流行状況について

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などを原因として、下痢や嘔吐などの症状が出る感染症で、冬場は、ノロウイルスやロタウイルスによるものが増加します。

例年、年末に流行のピークを迎えるため、この時期、特に注意が必要です

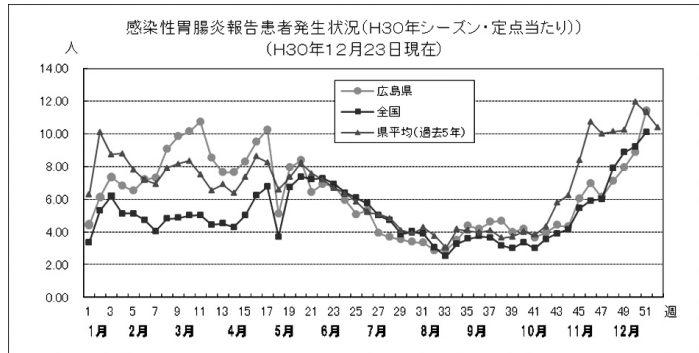
集団感染が起きやすい高齢者施設、保育所や幼稚園などでは、こまめな手洗い、食品の十分な加熱、次亜塩素酸ナトリウムによる適切な消毒等、感染の予防及び拡大防止対策を徹底するとともに、感染症または食中毒が疑われる事案が発生した場合は、速やかに保健所に連絡するようお願いいたします。

警報発令中



感染性胃腸炎 厚生労働省

検索



厚生労働省版

禁煙支援マニュアル

厚生労働省(健康局総務課生活習慣病対策室)において、禁煙支援マニュアルがとりまとめられました。日常の禁煙指導にお役立て下さい。

なお、内容は厚生労働省ホームページ「たばこと健康に関する情報ページ」で閲覧することができます。



◆禁煙支援マニュアル

URL <http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html>

(参考) 次亜塩素酸ナトリウムによる消毒

【消毒液の用途と作り方】

・次亜塩素酸ナトリウムは、市販の「家庭用塩素系漂白剤（濃度約5%）」に含まれています。

使用する場所・物	出来上がる消毒液の濃度	作 り 方
食器類 流し台 浴槽	200 ppm (0.02%)	家庭用塩素系漂白剤10 ml (ペットボトルのキャップ2杯分) 水 2.5 ℓ (500 mlのペットボトル 5本分) 
家具類 床	1,000 ppm (0.1%)	家庭用塩素系漂白剤10 ml (ペットボトルのキャップ2杯分) 水 0.5 ℓ (500 mlのペットボトル 1本分) 

【消毒液を取扱う際の注意点】

- ・吐物や便等汚れが残っていると消毒効果が低下します。汚れをよく除去してから使用してください。
- ・換気を十分に行ってください。
- ・皮膚に対して刺激作用があるので、ビニール手袋等を使用してください。また、手指・皮膚の消毒には絶対に使用しないでください。
- ・漂白作用があるので、衣類等には使用せず、他の方法（85℃以上の熱水消毒等）で消毒してください。
- ・金属を腐食させる性質があるため、金属に使用したときは念入りに水拭きしてください。
- ・消毒液は、時間の経過とともに効果が落ちます。その都度使い切ってください。
- ・誤って飲むことがないように、消毒液の入った容器には、消毒液であることを表示してください。

女性医師相談窓口

再就職、ワークライフバランス、産休、介護、子育てなど、どんなことでも気軽にご相談ください。
 回答の返送先（E-mailアドレス、FAX番号、電話番号、郵送の場合は住所）を明記して下記まで
 FAXまたはE-mailでご連絡ください。

あて先：広島県医師会女性医師部会（学術課）
 TEL：082-568-1511 FAX：082-568-2112
 E-mail：gaku@hiroshima.med.or.jp

2 疾患別定点情報【速報値】

(1)定点把握 (週報) 五類感染症 平成30年11月分 (平成30年11月5日~平成30年12月2日:4週間分)

Table with 12 columns: 疾患No., 疾患名, 月間発生数, 定点当り, 過去5年平均, 発生記号, 疾患No., 疾患名, 月間発生数, 定点当り, 過去5年平均, 発生記号. Rows 1-9 showing various diseases like インフルエンザ, RSウイルス感染症, etc.

(2)定点把握 (月報) 五類感染症 平成30年11月分 (11月1日~11月30日)

Table with 12 columns: 疾患No., 疾患名, 月間発生数, 定点当り, 過去5年平均, 発生記号, 疾患No., 疾患名, 月間発生数, 定点当り, 過去5年平均, 発生記号. Rows 19-22 showing diseases like 性器クラミジア感染症, etc.

※ 「過去5年平均」: 過去5年間の同時期平均 (定点当り)
※ 報告数が少数 (10件程度) の場合は発生記号は記載していません。
※ 感染性胃腸炎 (ロタウイルス) は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)
●急増疾患 インフルエンザ (0.16→0.52)
伝染性紅斑 (0.06→0.12)
●急減疾患 ヘルパンギーナ (0.32→0.16)

発生記号 (前月と比較)

Table with 3 columns: 急増減, 増減, 微増減, 横ばい. Includes arrows and numerical ranges like 1:2以上の増減.

定点把握対象の五類感染症 (週報対象18疾患、月報対象7疾患) について、県内178の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

Table with 7 columns: 対象疾病No., 内科定点, 小児科定点, 眼科定点, STD定点, 基幹定点, 合計. Row 1 showing counts for each category.

3 一類・二類・三類・四類感染症および全数把握五類感染症発生状況【速報値】

Table with 3 columns: 類別, 報告数, 疾患名 (管轄保健所). Rows 一類 to 五類 showing disease names and reporting locations.